

平成 30 年度第 1 回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成 30 年 5 月 14 日（月）10 時から 11 時 10 分

開催場所：長野市役所第一庁舎 7 階 第 2 委員会室

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 事務局自己紹介
- 5 諮 問
一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について
- 6 議 事
(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について
(2) 専門部会の設置について
- 7 その他
- 8 閉 会

【会議資料】

- ・資料 1 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（諮問書写し）
- ・資料 2 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（諮問）
- ・参考資料 1 長野市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について
- ・参考資料 2 長野市一般廃棄物処理基本計画
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿
- ・事務局職員名簿

【出席委員】 14 名

【欠席委員】 1 名

【事務局】 14 名

【報道・傍聴者】 1 名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

平成 30 年度第 1 回長野市廃棄物減量等推進審議会の会議開催に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

連休明けの忙しい中出席いただき感謝申し上げます。

本日は、長野広域連合新焼却施設の平成 30 年 3 月の稼働を踏まえ、ごみ処理手数料の改定について諮問をいただく。現行のごみ処理手数料が適正なものかどうか、審議会としての意見を答申までに取りまとめていきたい。

この後の議事では、ごみ処理手数料の概要について事務局から説明を受けたいと思う。よろしく願います。（会長）

3 環境部長あいさつ

新年度早々の忙しい中、ご出席いただいたことを感謝申し上げます。

長野市環境部においても新しい 1 年がスタートしたが、直後に更北地区でアカカミアリが発見された。内陸部で、しかも、女王蟻であったため、大きな注目を浴びた。環境部として一丸となり、注意喚起活動や調査を実施した。改めて、危機管理体制を問われる出来事であったが、迅速かつ的確に対応できたのではないかと考えている。ただし、現在まだ 1 匹ではあるが、侵入経路が不明なことから、引き続き緊張感を持って対応していきたい。

本日は、ごみ処理手数料の改定について諮問させていただく。本市では 3 年に一度各種手数料の見直しを行っている。ごみ処理手数料も平成 30 年 3 月で 3 年が経過するため見直しを行うが、平成 30 年 3 月末には、長野広域連合の新焼却施設が稼働することになるため、これまでの状況とは異なり、長野広域連合のごみ処理施設の稼働を踏まえて見直しをする必要がある。委員の皆さまには幅広いご見識の中からご意見を賜るようお願い申し上げます。

次に、平成 29 年度のごみ量についてご報告申し上げます。参考資料 1 を配布しており、後程説明させていただくが、平成 29 年度ごみ総量は 128,314 トンとなり、残念ながら、平成 28 年度と比べてやや増加した。増加した要因は、家庭ごみについては前年とほぼ変わらない一方、事業系ごみについては 600 トン程度増加したことが大きい。平成 28 年度に皆様の知恵を借りて策定した「長野市一般廃棄物処理基本計画」においても、事業系可燃ごみについて数値目標を定め、減量を推進するよう位置付けているところでもある。幸い、同計画で定めた平成 29 年度の数値目標は達成することができたが、増加傾向にある事業系ごみを抑制し、さらに減量していくことが大きな課題であると感じている。委員の皆様にはお知恵を借りながら進めていきたい。本日はよろしく願います。（環境部長）

4 事務局自己紹介

事務局職員順番に自己紹介

5 諮問

「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について」諮問書を環境部長から会長へ手交

6 議事

(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（諮問）

◇資料2「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（諮問）」及び参考資料1「長野市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について」により説明（事務局）

（須田委員） 参考資料1③の家庭ごみの市民一人一日当たりの可燃・不燃ごみ排出量については、人口減少も考慮してあるのか。あるとすれば、市民一人ひとりが相当な努力をしないとイケない。

（事務局） お見込みのとおり人口減少も考慮している。市民の皆さまにおいては、例えば、参考資料2「長野市一般廃棄物処理基本計画」の46ページに、残さず食べよう、水切り1回10%減量と目標達成のための取組例を示させてもらっている。市としては、これらの取り組みをしっかりと呼びかけていきたい。

（徳武委員） 長野市一般廃棄物処理基本計画の数値目標と県のチャレンジ800についてであるが、集団回収や店頭回収の排出量というのは、目標値の中に含まれるのか。

（事務局） 集団回収量は、数値目標に含まれる。一方、スーパー等に持ち込まれる店頭回収は含まれない。集団回収は市が報奨金を支出しているため、数値目標に含めるという整理である。

なお、店頭回収については、持ち込んだ資源物の量に応じて個人のポイントが貯まるというメリットもあり、回収量は増加傾向にあると認識している。

市としては、集団回収は数値目標に含めるから良い、店頭回収は含めないから悪いと言うことではなく、市民の排出機会が増加するという観点から、望ましいことと考えている。

（須田委員） ペット焼却についてであるが、現在、路上に死んでいる動物は、ごみ集積所に犬猫等と書いておけば、ごみ収集車が回収しているが、今後は変わるのか。

（事務局） 路上に死んでいる動物は、今後も同じ取扱いとなる。これまで清掃センターに持ち込まれていたペットについて、今後は専用の焼却炉ではなく、一般焼却となる。遺骨の持ち帰りもできなくなるため、遺骨を持ち帰りたい方は、民間のペット焼却場をご利用いただくこととなる。

(2) 専門部会の設置について

専門部会の設置について説明。専門部会の委員として、事前に内諾をいただいている筧委員、小木曾副会長、須田委員、竹内委員、徳武委員、西澤委員及び宮入委員にご就任いただきたい。(事務局)

7 その他

本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

8 閉会

(11時10分閉会)